

【公表】事業所における自己評価総括表

事業所名	児童ルームたちキッズ 児童発達支援			
保護者評価実施期間	令和 6 年 9 月 2 日 ～ 令和 6 年 9 月 30 日			
保護者評価有効回答数	対象者数	30名	回答者数	24名
従業者評価実施期間	令和 6 年 9 月 2 日 ～ 令和 6 年 9 月 30 日			
従業者評価有効回答数	対象者数	9名	回答者数	9名
総括表作成日	令和6年11月1日			

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・拡充を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に 行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・経験豊富な専門職の職員が多数 従事している。	・各専門分野の職員がチームを組 んで日々の療育内容を考案し、活 動を行っている。	・支援内容や専門職の質の向上を 図るため、研修会への参加や事業 所内でも職員研修を実施してい く。
2	・職員同士の情報共有をこまめに 行っている。	・毎日、朝礼と終礼を実施し情報共有を 行っている。また、記録を残し回覧を行 い、休みのスタッフへの周知も行ってい る。書類なども職員全員が漏れなく目を通 せるよう、回覧を行っている。	・保護者の方と話した内容など も、全員が内容を周知できるよう 意識を高める。
3	・構造化の要素を取り入れている。	・絵カードやイラストなどを使った視覚支 援やパーテーションで空間を分けるなど、 構造化の要素を用いて子どもたちがよりわ かりやすいよう工夫をしている。	・活動中の導線などを工夫し、よ りスムーズに療育が行えるよう改 善していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組みや 工夫が必要な点等
1	・地域交流の機会が少ない。	・地域のイベント情報をうまく収 集できていなかったり、時間帯や 年齢的な難しさなどの問題もあ る。	・情報収集をしたり、逆にこちら 側から何か発信するなどの方法 はないか検討してみる。
2	・保護者交流の場が少ない。	・保護者交流会は年に2回開催し ているが、親子参加型のイベント の為保護者同士や職員との交流は 少ない現状。	・交流会の内容を検討していく、 または勉強会などの企画を立てて 交流の場を作っていく。
3	・室内の環境調整の難しさ。	・療育スペースの狭さや幼児用の トイレや手洗い場が設置できてい ないなど、構造上の課題がある。	・構造上の問題はすぐには解決が 難しいため、空間をうまく使う工 夫や補助の道具を使用して対応し ていく。